

所管事項調査

外海地区の公共施設のあり方を考える市民対話

《かわら版》

(黒崎・出津・神浦エリアに係る分)

- ・ 第 1 回開催報告
- ・ 第 2 回開催報告
- ・ 第 3 回開催報告
- ・ 第 4 回開催報告

理 財 部

平成 31 年 2 月



# 外海地区の公共施設のあり方を考える市民対話《かわら版》

## ❀ 第1回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

**日時** 平成29年11月23日(木) 13:00~15:00

**場所** 外海ふるさと交流センター

**参加者** 地域の皆さん 約20人

人口減少や少子高齢化が進む中であっても暮らしやすいまちであり続けるために、外海にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・  
将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

### はじめに いま起きている“変化”と状況

長崎市から、人口減少社会の到来や、少子高齢化の進展など、「いま起きている“変化”と状況」についてお話ししました。

#### 施設が古くなってきている

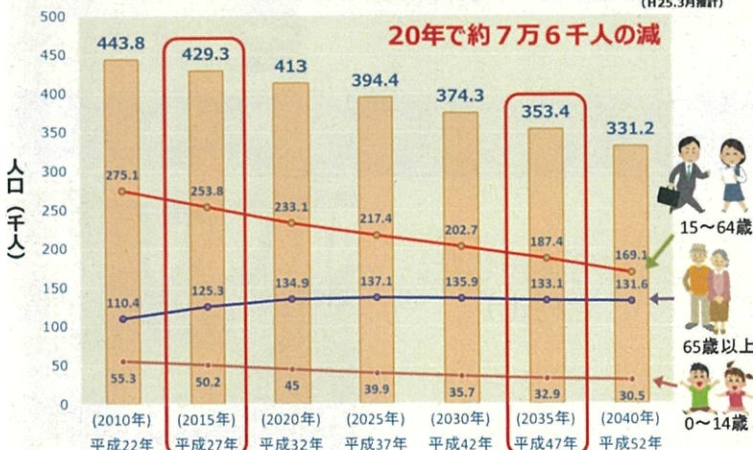
- ・市の施設のうち、全体の半分以上が築30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・修理や建替えの時期が一斉にやってきます。

#### 人口減少・少子高齢化が進んでいる

- ・長崎市の人口は、今後20年間で約7.6万人の減少が予想され、施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・15~64歳のいわゆる「働く世代」の人口が大きく減少して税収が減少することが予想されます。
- ・今後も少子高齢化が進み、福祉や医療にあてる費用が増えることが予想されます。
- ・このため、公共施設の修理や建替えにあてるお金は少なくなっていく予定です。

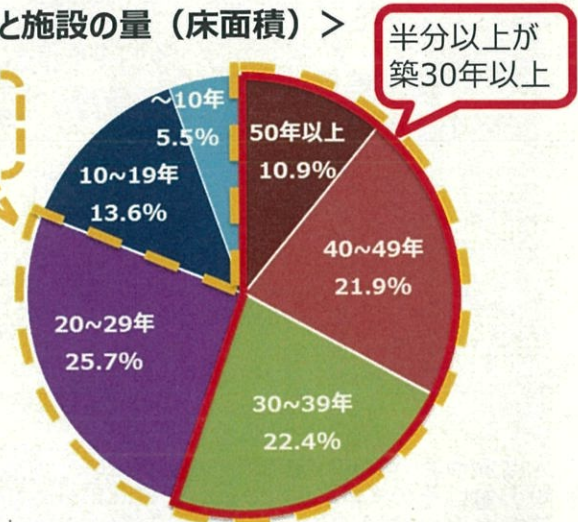
#### ＜人口の将来予想＞

資料：国立社会保障・人口問題研究所 (H25.3月推計)



#### ＜築年数と施設の量（床面積）＞

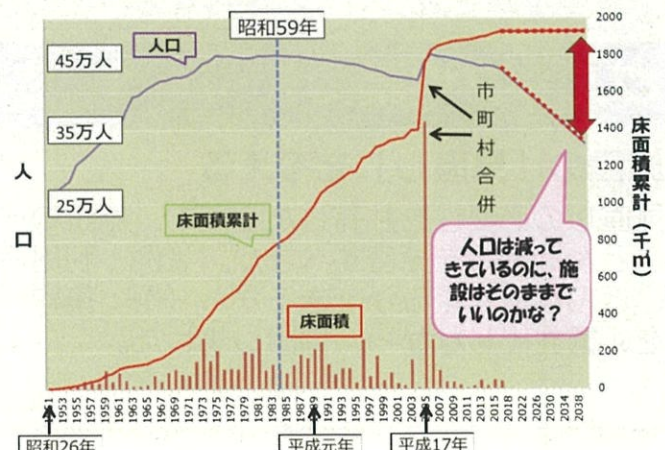
80%以上が  
築20年以上



#### 人口は減少しているのに、施設は多いまま

- ・長崎市の人口（紫の線）は、昭和59年をピークに減少していますが、施設の量（赤の線）は増え続けています。
- ・今ある施設を全て持ち続けることが必要でしょうか？

#### ＜施設の面積と人口の移り変わり＞





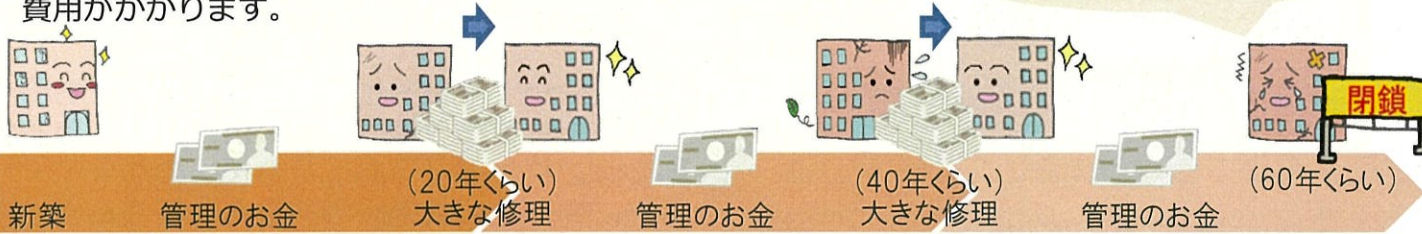
# はじめに 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」に伴い、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

## ところで…

建物の生涯では、どんな費用がかかるかご存知ですか？  
建物を建てて、使わなくなるまでにはおおよそ次のような費用がかかります。

建物は建てるときだけでなく修理や管理にもたくさんのお金がかかるんだ。  
一般に建設費の3～4倍のお金が、維持管理から解体までにかかるといわれているよ。



## 公共施設を取り巻く時代の変化

長崎市の人口は、20年後には18%も減少すると予想されているんだ。

人口減少

少子高齢化

64歳以下の人口は大きく減っていき、税収(市の収入)が減っていくよ。



公共施設の  
利用者の減少

医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大



なのに

なのに



公共施設の量は  
増え続ける

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる



人は減っていくのに、施設の量はそのままだと、使われない施設が増えちゃうね。

公共施設はこのままでいいのでしょうか？

市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

長崎市が

『人口が減っても、暮らしやすいまち』であり続けるために  
今、公共施設の使い方の見直しが必要です！



## グループ協議①

### 施設の「見直し」を考える

見直しの必要性を共有したうえで、施設の見直しについて考えました。

○どんな施設を見直すべきか。(例：利用されていない、老朽化)

○どんな取り組みができるか。(例：集約、移転)

を、書き出しながら、協議しました。





# 公共施設のかしこい見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

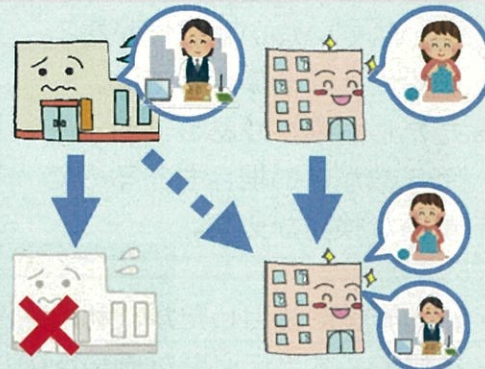
まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで担っていた、生活に必要なサービスを無くすということではありません。

<工夫した使い方の例>



建物は減っても… サービスは残る

## 公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

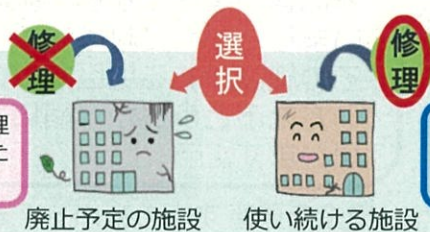


## 見直しの手法

見直しには、大きく3つの手法があります。

手法1 施設を選んで、使い続ける  
施設はしっかり管理！

廃止予定なのに修理をするのは、もったいないね！



安全で安心して利用できる施設管理に努めます

手法2 ゆずりあいと工夫



工夫することで建物が減っても活動は続けられ新たな交流も生まれます。

手法3 新たな財源を確保する

- ◇使っていない土地を売ったり、貸したりする
- ◇民間と連携・協力し、より良い行政サービスを効率的に提供する

## グループ協議②

### 施設の利用状況を確認

地域の公共施設をどのくらい使っているか、あらためて振り返りました。

- ①施設の名前
- ②どんな目的で利用しているか。
- ③利用の頻度（週に1回、月に1回など）を、書き出しました。

### 見直す施設を考える

これまでの長崎市からの話や、「グループ協議①」で協議した内容を踏まえ、地区にあるどの施設を見直すべきか、意見を出しあいました。



## 各班から発表いただいた主な内容です。

- ・古い施設、危ない施設は見直すべきで、歴史民俗資料館はその対象になるのではないか。
- ・他にも古い、危ない施設があれば、使われていない耐震性がある施設に機能を集約しては。
- ・ただし耐震性があっても、築年数が古い場合もあるので慎重な検討が必要。

1班



- ・今後、施設の見直しはどうしても必要になるのではないか。
- ・実際には、要らない建物は解体する必要があると思う。
- ・まちづくり記念館はボランティアガイドが使っているが、地元の雇用のために、工芸品などを販売する場所として活用できないか。

2班



- ・観光施設に注目したが、利用状況を見て、本当に必要な施設なのか考えないといけないのではないか。
- ・世界遺産化に向けては、バリアフリー化や大型バス駐車場の確保が必要。
- ・今後、遊休資産となる黒崎中学校の建物の活用も検討が必要。

3班



- ・市の組織再編に伴い、地域センター2階の事務所部分が空きになっているので、そこを使って宿泊部屋を増設してはどうか。
- ・旧神浦中学校校舎の活用を考えないといけない。
- ・旧外海行政センター庁舎も活用されていないので、整備か見直しが必要。

4班



### 【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讀岐 亮 先生）

参加者の皆さんから、施設の集約・複合化や、企業との連携というご意見が出ていましたが、これはすごく大事な考え方です。公共施設は、管理者である市や、その施設がある地区だけのものではなく、市民全体のものでもあります。その使い方を市と市民と一緒に考え、見直しを検討していくことが一番重要なことだと思います。

今回の対話では、施設を見直す時の視点や、どのような取り組みができるかを考え、見直すべき施設をイメージしていただきました。



## 次回の対話では・・・

長崎市の公共施設の**基本的な配置の考え方**をお示しし、第1回で出された意見を参考に、市の方で検討した**施設のあり方の見直し案**をお示ししたいと考えています。

それに対する皆さんのご意見をお聞かせください。

### 次回の対話

**第2回 日時：平成29年12月17日（日） 13:00～15:00**

**場所：黒崎地区公民館 ※第1回目とは場所が違います！！**

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）



## ❀ 第2回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

日時 平成29年12月17日(日) 13:00~15:00

場所 黒崎地区公民館

参加者 地域の皆さん 22人



### 1 第1回と第2回に話し合った内容

#### 第1回

(11/23)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②市の説明をふまえ、**どんな施設を見直すべきか**、**どんな取り組み**ができるか話し合いました。
- ③外海地区にある**公共施設の利用状況**を付せん書き出し、地区にあるどの施設を見直すべきか話し合いました。



#### 第2回

(12/17)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の公共施設の配置の考え方**と、第1回で参加者の皆さんから伺った施設の利用状況や、建物の状況などを基に市で検討した**公共施設のあり方の見直し案**をお示しました。
- ②**見直し案**に対しての**ご意見・ご提案**を、書き出してもらい、グループごとに**課題やアイデア**を出し合いました。

### 2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案

#### 観光施設



まちづくり記念館

観光客が施設等の魅力を感じ、理解を深め、高い満足度を得るような価値を有する場所に設置することとしています。

❀主に長崎さるくのガイドステーションとして利用されていますが、手狭であり、ガイドステーション充実のため、周辺施設に移転したいと考えています。

文化財は、地域の歴史や文化に欠くことのできない大切な財産として、文化財保護法などにに基づき、保存、継承、活用することが求められています。

❀文化財として、引き続き適正な維持管理に努めていきます。

#### 文化財



ド・ロ神父記念館



## 2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案（つづき）

### 博物館等



外海子ども博物館

- ❖ 外海子ども博物館は、平成30年3月に廃止します。
- ❖ 内部改修のうえ、9月から、老朽化した出津地区公民館の移転先として、地域の皆さんにご利用いただくこととしています。

市民全体が利用する施設として、教育の振興や学術・文化の発展に寄与することを目的として設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。



外海歴史民俗資料館

- ❖ 歴史民俗資料の展示や保存については、将来的に平野町の歴史民俗資料館に集約しますが、外海の特徴的な資料については、外海の地域内で展示する必要があると考えています。
- ❖ 現在、歴史民俗資料館運営委員会で、展示資料の整理の考え方についての議論が行われており、その議論も踏まえて、将来的な施設のあり方について検討したいと考えています。



遠藤周作文学館

- ❖ 遠藤文学ゆかりの地に立地し、貴重な遠藤周作に関する資料を有する施設として、引き続き適正に管理していきたいと考えています。

### コミュニティ施設



黒崎地区公民館



外海公民館

- ❖ 黒崎地区公民館と外海公民館は、地域活動の拠点として、引き続き適正な維持管理に努めます。

地域の皆さんがふれ合ったり、いろいろな活動を行っていく場所（コミュニティ施設）については、気軽に立ち寄ることが出来る範囲として、小学校区ごとに配置していく考えですが、外海地区では、地域の成り立ちなどを考慮し、旧小学校区ごとに配置していきます。ただし、近くに同じような使い方をしている施設がある場合は見直す必要があります。



移転  
出津地区  
公民館



- ❖ 出津地区公民館は、平成30年9月に外海子ども博物館に移転することとしています。移転後は、出津地区における地域活動の拠点として、適正な維持管理に努め、皆さんに大いにご利用いただきたいと考えています。



老人福祉センター  
開陽山荘

- ❖ 開陽山荘は、利用者が少ないこと、建物の耐震性がなく、バリアフリーにもなっていないこと、老朽化が進んでおり、特にボイラー設備は耐用年数を迎えている（2017年）ことから、今後も施設を維持管理していくには多額の費用が必要です。
- ❖ 旧出津小学校の地域内には、同じコミュニティ機能をもつ出津地区公民館があることから、開陽山荘については、今後ボイラー設備の更新は行わず、入浴の機能について、民間施設の利用なども含め代替策を検討した上で、施設を廃止したいと考えています。



## レクリエーション施設



黒崎海岸有料シャワー施設



西出津ゲートボール場

❖他のサーフスポットでは、利用者自身が簡易シャワーやポリタンクなどを準備していることなどから、今後、施設の改修などに大きな費用を投資する必要が生じた場合に廃止したいと考えています。

❖西出津ゲートボール場は、ゲートボール専用施設としては廃止し、多目的に利用できるよう活用のあり方について、地域のみなさんと考えていきたいと思っています。

## 農林業振興施設

長崎市全体として施設規模の適正化を図っていくこととしています。



外海ふれあい  
農産加工所

❖施設は適正に管理しながら、さらなる農業振興・地域振興につながるよう、今後、運営のあり方については継続して検討していきます。

## 物産振興

農水産物直売所は、生産者の所得向上や地域の農水産業の活性化に大きな役割を果たしていますが、その多くが民間により設置・運営されており、市で設置している直売所については、あり方を見直していく必要があると考えています。



道の駅  
夕陽が丘そとめ

❖道の駅のブランド力を活かした情報発信・地域交流の拠点として、現在の施設を適正に管理しますが、施設や運営のあり方は、今後とも継続的に見直していく必要があると考えます。

## 地域センター

行政手続きや地域のまちづくりを支援する拠点は、引き続き地域に必要と考えています。



外海地域センター



外海地域センター  
黒崎事務所

❖これから人口が減少するとともに、手続きの電子化や簡素化が進むことが見込まれるため、将来的には、人口動向などによっては適切な見直しを図っていくことも検討しながら、現在の施設の適正な管理に努めます。

## 市営宿泊施設

宿泊施設については、本来は民間に任せるべき分野と考えており、将来的に廃止、または民間運営が可能な施設については民間委譲を行います。



外海ふるさと  
交流センター

❖外海地区内には宿泊施設が少ないことから、現在の施設が使用可能な当分の間、宿泊機能については引き続き設置しますが、施設や運営のあり方などについては、今後も継続的に検討することとします。



## 市営住宅

人口減少社会を迎え、将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小していく方針です。また、入居者の点在を解消し、効率的な維持管理が出来るようにしていく方針です。



永田第1住宅



永田第2住宅



永田第3住宅



高尾住宅



松本住宅



松山迫住宅



出津住宅



西出津住宅



丸尾住宅



神浦住宅



夏井住宅

❖ 外海地区の市営住宅については、引き続き適正な維持管理に努めるとともに、今後の住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで、適正な管理戸数になるよう見直します。

## 港湾施設



神浦港ターミナル

❖ 離島地区の住民や観光客などの航路利用者には必要不可欠ですので、航路がある限り、船客待合所としての機能を維持します。

## 消防出張所



北消防署神浦出張所

❖ 効率的な消火活動のため、道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮した上で、全市的な観点で計画的に配置します

## 小中学校



外海黒崎  
小学校



神浦  
小学校



外海地区  
中学校  
※  
新校舎  
建築中

❖ 学校の適正化については、協議が済みであり、今の施設を適正に管理します。

## 遊休資産

遊休資産については、建物の残存耐用年数や施設の老朽化の状況などを考慮し、建物の解体や売却・貸付も含め、今後、有効な活用方法の検討を行いたいと考えています。



黒崎中学校  
(H31年4月以降)



旧神浦中学校



旧外海行政  
センター



### 3 意見の記入

今回の対話では、長崎市が考えた外海地区の公共施設のあり方の見直し（案）について、まず、参加者の皆さんに意見を書き出してもらい、その後、各班で施設毎に意見のとりまとめをしていただきました。



### 4 発表

各班の発表内容の主なものです。

#### 外海歴史民俗資料館

- 池島炭鉱の展示は神浦でもいいのでは。
- 会議室などはいらぬのでは。
- 地域独特のキリシタン資料、出津地区の土器の資料は残してもらいたい。
- 施設が古く、耐震化、バリアフリーがなされていない。大規模改修か、縮小建替を行っては。



#### まちづくり記念館

- 何か小売機能があった方がいい。
- 地元工芸家の作品の展示販売を行っては。
- ガイドステーション機能を子ども博物館に移転する。
- 歴史民俗資料館に統合してもいいのでは。
- 観光拠点施設は必要。



#### 老人福祉センター開陽山荘

- 今後の改修費を考えると廃止はやむを得ない。
- 入浴機能を他で確保できれば廃止はやむを得ない。
- 社協はどうなるのか。移転するのか。災害が起きた場合の連絡活動場所は。
- 入浴施設の利用者は数名であり、代替策は不要では。



#### 黒崎海岸有料シャワー施設

- 考え方（大規模改修時に廃止）はいいのでは。
- シャワー施設トイレは継続してほしい。
- シャワー施設は、設置した経緯があるので、廃止の際は、住民やサーファー団体等と協議を行う必要がある。



#### 西出津ゲートボール場

- 建物の塗装（維持管理）をしっかりとる必要がある。
- フットサルやグランドゴルフで活用。





## 4 発表 (つづき)

各班の発表内容の主なものです。

### 市営住宅

・古いアパートに住んでいます。修理をしながらなるべく長く住めれば。



### 道の駅 夕陽が丘そとめ

・よく利用している。店が少ないので、できるだけ継続してほしい。



### 外海・黒崎地区公民館

・ふれあいセンター化でより柔軟な使い方ができ、たくさんの方が利用できるようになるのでは。



### 外海ふるさと交流センター

・行政センター跡のスペースを活用し、宿泊施設の拡充を。



### 遊休資産

・世界遺産関係で観光客が増えると思うので、大型バスが駐車できる資料館が作れないか。  
(旧神浦中、旧外海行政センター、黒崎中)  
・調理室を開放して地元に使ってもらっては。(旧神浦中)



### 移転後の出津公民館

・屋外に薪で調理できるような「かまど」があれば地域で使える。



【講評】 (アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讀岐 亮 先生)

今回の市の案に対し、皆さんはよく理解されていると思いました。もちろん全面的に賛成ではないでしょうし、もっといいアイデアもあると思いますが、コスト、サービス、建物寿命のことを考えてくださっているので感心させられました。

今日いただいた意見には、市が持ち帰って検討しなければいけないものもあったので、その結果も踏まえて次回以降も議論を深めていきましょう。

## 次回の対話では・・・

第2回目の対話で住民の皆様から出された意見に対しての市の考え方をご説明し、さらに話し合いを進めたいと考えています。

### 次回の対話

第3回 日時：平成30年1月27日(土) 13:00～15:00

場所：外海ふるさと交流センター(神浦) ※第2回目とは場所が異なります！

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)



## ❀ 第3回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

日時 平成30年1月27日(土) 13:00~15:00

場所 外海ふるさと交流センター

参加者 地域の皆さん 24人



### 1 第3回までに話し合ってきた内容

#### 第1回

(11/23)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②市の説明をふまえ、**どんな施設を見直すべきか**、**どんな取り組み**ができるか話し合いました。
- ③外海地区にある**公共施設の利用状況**を付せんに書き出し、地区にあるどの施設を見直すべきか話し合いました。



#### 第2回

(12/17)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の公共施設の配置の考え方**と、第1回で参加者の皆さんから伺った施設の利用状況や、建物の状況などを基に市で検討した**公共施設のあり方の見直し案**をお示ししました。
- ②**見直し案**に対しての**ご意見・ご提案**を、書き出してもらい、グループごとに**課題やアイデア**を出し合いました。



地域の実情や課題を踏まえた  
新しい使い方やアイデア

#### 第3回

(1/27)

- ①第2回で参加者の皆さんから伺った意見に対し、**市で検討した結果**をお示ししました。
- ②第2回で皆さんの関心が高かった施設について、市から**「話し合ってもらったこと」**を提案し、グループごとに**意見交換**を行いました。



詳しい内容は、  
中面をご覧ください。





## 2 市からの回答 と 話し合っていたきたいこと

※各班の提案の一部を掲載しています。

### ○外海歴史民俗資料館

第2回

(住民)  
前回の  
主な意見

- 施設が古く、耐震化、バリアフリーがなされていない。
- 大規模改修か縮小建て替えを行っては。
- 池島炭鉱の展示は神浦でもいいのでは。
- 地域独特のキリシタン資料、出津地区の土器の資料は残してもらいたい。



(市)  
回答

現在、歴史民俗資料館運営委員会で、展示資料の整理の考え方についての議論が行われておりますが、歴史民俗資料の統合は2023年以降と考えており、それまでに将来的な施設のあり方について検討したいと考えています。

(市)  
質問

歴史民俗資料館の所蔵するキリシタン資料、ド・ロ神父関連資料、出津地区の土器資料等、外海地域特有の資料を展示する場所としてふさわしい場所は、現在の施設以外にどこにありますか。

第3回

2班 3班

(住民)  
今回  
出された  
アイデア

- キリシタン関連遺産だけなら子ども博物館に移せるのではないかと、又は救助院に一部移せるのではないかと。移転後は駐車場として活用する。
- ほかに適当な場所はないのでは。
- 出津文化村の核となる拠点施設として残してもらいたい。

### ○西出津ゲートボール場

第2回

(住民)  
前回の  
主な意見

- 建物の塗装(維持管理)をしっかりとる必要がある。
- 多目的に使えるようにしては。  
(フットサルやグラウンドゴルフ等)



(市)  
回答

ゲートボール場の利用は、週に2回程度で、ナイター設備の利用はほとんどありません。今後、利用に対する皆さん方のお考え、また、近くに中学校が移転することを踏まえ、多目的な活用について検討していきます。

(市)  
質問

具体的にどのような利用の仕方が考えられますか。

第3回

1班 2班

(住民)  
今回  
出された  
アイデア

- フットサルやグラウンドゴルフでは狭いと思う。
- 市内のゲートボール団体に周知をして使ってもらい、大きな大会等をしてもらえば利用度は上がるのでは。
- 中学校ができるので、子どもたちのために活用する。
- イベントで活用(以前ド・ロ神父のイベントを行った。)
- 地域行事で活用

名前を変えれば「使える」と認識できるのでは!



# ○外海ふるさと交流センター

第2回

(住民)

前回の  
主な意見

○行政センター跡のスペースを活用し、宿泊施設の拡充を。



第3回

(市)

回答

○「外海イン」の客室が満室になるのは、平成28年度に年間で31日しかありません。  
○年間の利用状況は、1日平均4.8室(全10室)で稼働率は48.2%となっています。  
○したがって、余剰スペースをホテル客室に転用するには、利用状況、採算性等を  
みながら判断する必要があると考えています。

(市)

質問

外海地域センター余剰スペースについては、宿泊機能以外で  
どのような使い方が考えられるでしょうか。

1班

6班

💡  
地元事業者や住民が一緒  
になって地域の魅力を伝え  
ていけば交流センターの使  
い方も変わってくる

(住民)

今回  
出された  
アイデア

- 世界遺産効果で観光客が増えた時に宿泊機能の必要性がでてくるのでは。
- 元々住民のための施設なので、無料開放する。
- グリーンツーリズムの一環で滞在拠点・情報発信拠点として活用し、  
神浦の魅力(大中尾棚田、丸尾の石積群、お寺など)に触れてもらう。
- 空きスペースは地域の伝統文化を体験してもらうスペースとして活用する。

# ○遊休資産(旧神浦中、旧外海行政センター、黒崎中※H31年4月以降)

第2回

(住民)

前回の  
主な意見

- 世界遺産関係で観光客が増えると思うので、大型バスが  
駐車できる資料館が作れないか。  
(旧神浦中、旧外海行政センター、黒崎中)
- 調理室を開放して地元に使ってもらっては。(旧神浦中)



(市)

回答

- 長崎市では、外海歴史民俗資料館を世界遺産センターの  
サテライト施設と位置付け、平成28年度に、既存の外海の  
キリスト教関連資料と共に、世界遺産の価値を説明するた  
めの展示の追加を行っており、今後も情報発信拠点として活用  
していく予定です。
- 旧神浦中の調理室の開放については、近くにある外海  
公民館の調理実習室の利用状況を踏まえて検討する必要  
があります。



第3回

(市)

質問

新たな財源の確保の観点から民間への売却や貸付を検討  
していますが、その考え方について、どうお考えですか。また、  
地元で活用する場合、維持管理や運営はどう考えますか。



1班

2班

3班

(住民)

今回  
出された  
アイデア

- 通信設備を整備し企業誘致(旧神浦中)
- ゆうこうの栽培地、公文書館の設置、ネットを通じ太鼓等の音楽グループへの貸出し、  
老人福祉施設への貸出し、貸倉庫として活用(黒崎中)
- 社協の移転先(旧外海行政センター)
- 民間への売却、貸付けの推進(黒崎中)
- 避難所として活用(旧神浦中、黒崎中)



## 2 市からの回答 と 話し合っていたきたいこと (つづき)

### ○黒崎海岸有料シャワー施設

第2回

(住民)  
前回の  
主な意見

- シャワー施設は、設置した経緯があるので、廃止の際は、住民やサーファー団体等と協議を行う必要がある。
- トイレは継続してほしい。



第3回

(市)  
回答

- 黒崎海岸は、主に夏場のサーフスポットとして利用されており、ここを利用するサーファーからトイレやシャワー施設の設置、駐車場の整備について要望があり、平成10年頃から海岸に隣接する黒崎漁港を利用する漁協を含めて協議を進め、漁民や地域とのトラブル解消策として、平成16年に現在の場所に設置しております。
- シャワー施設は、大規模改修が必要になるまでは継続しますが、その時点で廃止したいと考えています。公衆トイレは、使用状況が悪く、地域からの苦情もあり、利用者とも話し合いの場を持ち、存続等について検討したいと考えています。

#### 3班

(住民)  
今回  
出された  
アイデア

- シャワー施設を大規模改修時に廃止することについてはやむを得ない。
- 元々この施設がある場所は、消防団格納庫もあるが、火事の際に消防団の人達が駆けつけてくる駐車場であった。サーファーの利用も少ないし、足りなければ黒崎港の広いスペースを利用してもらってはどうか。



【講評】 (アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生)

- 時間が限られる中で、いろいろと考えていただきました。
- 公共施設については、名前にとらわれてしまって、真に必要な利用ができなくなることがあります。名称の変更も含めた柔軟な対応も、公共施設を「賢く」利活用するために重要なことではないでしょうか。
- 廃止、存続するという施設に限らず、皆さんも地域を維持していくために、自分に何ができるかを考えてもらいたいと思います。そのために今日出た意見は発展性がありそうでしたし、それを共有できたことはよかったですと思います。この考えを発展させて、第4回につなげていきましょう。

### 次回の対話では・・・

最終回の第4回は、第3回の対話で住民の皆様から出された意見に対しての市の考え方をご説明し、議論を深め、意見を集約したいと考えています。

次回の対話

**第4回 日時：平成30年2月18日(日) 13:00～15:00**  
**場所：黒崎地区公民館※第3回目とは場所が異なります！**

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)



# 外海地区の公共施設のあり方を考える市民対話《かわら版》

## ❀ 第4回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

**日時** 平成30年2月18日(日) 13:00~15:00

**場所** 黒崎地区公民館

**参加者** 地域の皆さん 23人



### 1 市民対話 全4回の流れ

**第1回**  
(11/23)

- ①長崎市の**公共施設の現状**や**見直しの必要性**について
- ②外海地区の**公共施設の利用状況**を確認

**第2回**  
(12/17)

- ①市全体の**公共施設の配置の考え方**と、市で検討した**外海地区の公共施設のあり方**の見直し案の説明
- ②見直し案へのご意見・ご提案

**第4回**  
(2/18)

- ①第3回でいただいた意見等に対し、**市で検討した結果**を説明
- ②**意見交換**
- ③**対話のまとめ**

**第3回**  
(1/27)

- ①第2回でいただいた意見等に対し、**市で検討した結果**を説明
- ②市から提示した「**話し合っていたきたいこと**」について**意見交換**

### 2 外海地区の公共施設の配置の考え方

#### 観光施設



まちづくり記念館

観光客が施設等の魅力を感じ、理解を深め、高い満足度を得るような価値を有する場所に設置することとしています。

- ❀現在は外海地区におけるガイドステーションとして利用されていますが、その機能を周辺施設に移転し、施設については廃止したいと考えています。

#### 文化財



ド・ロ神父記念館

文化財は、地域の歴史や文化に欠くことのできない大切な財産として、文化財保護法などに基づき、保存、継承、活用することが求められています。

- ❀文化財として、引き続き適正に管理します。



## 2 外海地区の公共施設の配置の考え方（つづき）

### 博物館等



外海子ども博物館

- ❖ 外海子ども博物館は、平成30年3月1日をもって廃止されました。
- ❖ 今後、内部改修を行って、9月から、老朽化した出津地区公民館の移転先として、ご利用いただくこととしています。

市民全体が利用する施設として、教育の振興や学術・文化の発展に寄与することを目的として設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。



外海歴史民俗資料館

- ❖ 歴史民俗資料の展示や保存については、将来的に平野町の歴史民俗資料館に集約しますが、キリスト教関連などの外海地区の特徴的な資料については、外海の地域内で引き続き展示することとしています。
- ❖ 現在、歴史民俗資料館運営委員会で、展示資料の整理の考え方についての議論が行われており、その議論も踏まえて、将来的な施設のあり方について検討していきます。



遠藤周作文学館

- ❖ 遠藤文学ゆかりの地に立地し、貴重な遠藤周作に関する資料を有する施設として、引き続き適正に管理していきます。

### コミュニティ活動施設



黒崎地区公民館



外海公民館

- ❖ 黒崎地区公民館と外海公民館は、地域活動の拠点として、引き続き適正に管理します。

公民館やふれあいセンター、老人福祉センターなどは、いずれも会議室や講堂などの広いスペースを備え、地域の皆さんが身近にふれあったり、趣味の活動をしったりすることができる場となっています。こうしたいろいろな活動を行っていく場（コミュニティ活動施設）については、気軽に立ち寄ることが出来る範囲として、小学校区ごとに配置していく考えですが、外海地区では、地域の成り立ちなどを考慮し、旧小学校区ごとに配置していきます。ただし、近くに同じような使い方をしている施設がある場合は見直す必要があります。



出津地区公民館



- ❖ 出津地区公民館は、平成30年9月に外海子ども博物館に移転することとしています。移転後は、出津地区における地域活動の拠点として、適正に管理していきます。



老人福祉センター  
開陽山荘

- ❖ 開陽山荘は、利用者が少なく、建物は非耐震で老朽化が進んでおり、特にボイラー設備は耐用年数を迎えています。また、旧出津小学校の地域内には、同じコミュニティ機能をもつ出津地区公民館があります。
- ❖ こうしたことから、開陽山荘については、今後ボイラー設備の更新は行わず、入浴機能について、民間施設の利用なども含め代替策を検討した上で、施設を廃止したいと考えます。



## レクリエーション施設

民間運営が可能だったり、県の施設と機能が重複しているレクリエーション施設については、民間への移管や用途廃止により全体として規模の縮小を図ることとしています。



黒崎海岸有料シャワー施設

- ❖ 他のサーフスポットでは、利用者自身が簡易シャワーやポリタンクなどを準備していることなどから、今後、施設の改修などに大きな費用を投資する必要が生じた場合に廃止したいと考えます。また公衆トイレ機能については、利用者の皆様とも協議して検討したいと考えています。



西出津ゲートボール場

- ❖ 西出津ゲートボール場は、ゲートボール専用施設としては廃止し、多目的に活用できるような活用のあり方について、地域の皆様と考えていきます。

## 農林業振興施設

長崎市全体として施設規模の適正化を図っていくこととしています。



外海ふれあい  
農産加工所

- ❖ 施設は適正に管理しながら、さらなる農業振興・地域振興につながるよう、今後、運営のあり方については継続して検討していきます。

## 物産振興

農水産物直売所は、生産者の所得向上や地域の農水産業の活性化に大きな役割を果たしていますが、その多くが民間により設置・運営されており、市で設置している直売所については、あり方を見直していく必要があると考えています。



道の駅  
夕陽が丘そとめ

- ❖ 道の駅は市町村などが設置主体である必要があり、道の駅のブランド力を活かした情報発信・地域交流の拠点として、現在の施設を適正に管理しますが、施設や運営のあり方は、今後とも継続的に見直していきます。

## 地域センターなど

行政手続きや地域のまちづくりを支援する拠点は、引き続き地域に必要と考えています。



外海地域センター



外海地域センター  
黒崎事務所

- ❖ これから人口の減少が進むとともに、手続きの電子化や簡素化が進むことも見込まれるため、将来的には、人口動向などによっては適切な見直しを図っていくことも検討しながら、現在の施設を適正に管理します。

## 市営宿泊施設

宿泊施設については、本来は民間に任せるべき分野と考えており、将来的に廃止、または民間運営が可能な施設については民間委譲を行うこととしています。



外海ふるさと  
交流センター

- ❖ 外海地区内には宿泊施設が少ないことから、現在の施設が使用可能な当分の間、宿泊機能については引き続き設置しますが、施設や運営のあり方、余剰スペースの活用などについては、今後も継続的に検討することとします。



## 市営住宅

人口減少社会を迎え、将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小していく方針です。また、入居者の点在を解消するため、将来的に建て替える際はできるだけ集約し、効率的な維持管理が出来るようにしていく方針です。



永田第1住宅



永田第2住宅



永田第3住宅



高尾住宅



松本住宅



松山迫住宅



出津住宅



西出津住宅



丸尾住宅



神浦住宅



夏井住宅

❖ 外海地区の市営住宅については、引き続き適正な維持管理に努めるとともに、今後の住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで、適正な管理戸数になるよう見直します。

## 港湾施設



神浦港ターミナル

❖ 離島地区の住民や観光客などの航路利用者には必要不可欠ですので、航路がある限り、船客待合所としての機能を維持します。

## 消防出張所



北消防署神浦出張所

❖ 効率的な消防、救急、救助活動のため、道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮した上で、全市的な観点で計画的に配置します。

## 小中学校

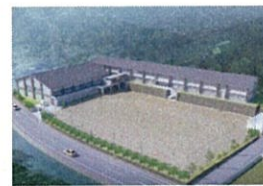
❖ 外海地区の学校の適正配置については、すでに協議が済んでおり、今の施設を適正に管理します。



外海黒崎小学校



神浦小学校



外海中学校  
※  
新校舎建築中

## 遊休資産

遊休資産については、建物の残存耐用年数や施設の老朽化の状況などを考慮し、建物の解体や売却・貸付も含め、今後、有効な活用方法の検討を行います。



黒崎中学校  
(H31年4月  
以降)

❖ 黒崎中学校は、校舎が耐震化されていないことや、防犯上の観点から、H31年4月以降に解体し更地にした上で、売却も含めた跡地の活用を検討します。



旧外海行政  
センター

❖ 旧外海行政センターも、建物の老朽化が著しいため、大規模な改修は行わず、解体し更地にした上で、売却も含めた跡地の活用を検討します。



旧神浦中学校

❖ 旧神浦中学校は、引き続き校舎を含めた有効活用を検討します。



### 3 意見交換

※参加者からのご意見・ご質問と市からの回答の主なものです。

#### ○老人福祉センター開陽山荘について

- ①開陽山荘廃止後の社会福祉協議会外海支所がどうなるのだろうか。子ども博物館や、旧神浦中へ移転してはどうかというアイデアも出されているが、社協側の考え方がわからないことには、議論することができない。
- ②入浴機能については代替策を検討することだが、具体案はあるのか。

①社協とは協議をしていますが、今後の方針は決まっていないとのこと。今回いただいた社協の将来のあり方についてのご意見は、しっかり社協の方にお伝えします。

②社会福祉施設の事業所では、デイサービスなどの色々なサービスを提供しており、近隣の社会福祉法人において、浴場開放等の地域貢献活動ができないかどうかを検討していきたいと考えています。



#### ○外海歴史民俗資料館について

- ・資料が平野町の資料館に移されるとのことだが、展示なのか保管なのか。また、資料が重複する場合には処分することもあるのか。

・現在、歴史民俗資料館運営委員会で展示資料の整理の考え方を議論していますが、資料を処分することは考えていません。外海に関わりのあるキリスト教関連資料などは今のまま地域に残し、それ以外については、平和町に集約する方向で検討しています。

#### ○西出津ゲートボール場について

- ・ゲートボール以外の目的でも利用できるように検討することだが、ゲートボールは路面を平たく保つ必要があるため、他のスポーツとの併用は不可能と考えるが。

・今後もゲートボールで使いたいという方もいらっしゃると思いますが、お聞きする中では、ゲートボールに限らず多目的な利用に対応してほしいとの意見が多かったようです。お話をしながら決めていくことになりましたが、中学校が移転してくることから、子ども達による利用も含め、有効な使い方を考えていきたいと思えます。



#### ○外海ふるさと交流センターについて

- ・併設する地域センターの空きスペースについては、現在の宿泊施設の運営事業者の希望はどうか。

・行政センター跡の2階の空きスペースについては、皆様方からの意見にもあった炭鉱資料の展示なども含め、今後の有効活用について、宿泊施設の運営事業者とも相談しながら検討していきたいと考えています。





### 3 意見交換（つづき）

#### ○遊休資産（黒崎中学校、旧神浦中学校、旧外海行政センター）について

- ・民間への売却、貸付を行うとのことだが、具体的な展望はあるのか。

- ・売却や貸付をする場合は、原則として入札に付すこととなりますが、その際は、広く周知を図って、できるだけ多くの入札参加者を募れるようにしていきたいと考えています。



#### ○旧教職員住宅について

- ・利用されず、そのままになっている木造の建物は早く解体できないのか。

#### ○外海地域センター黒崎事務所について

- ・2階の畳部屋が使われていないようだが、避難場所として活用できないのか。道路からも入りやすいし、現在、避難場所として使っている1階の部屋よりは広くて使いやすいと思う。

- ・黒崎地区の避難所については、立地や設備の面から、多くの方は黒崎地区公民館を利用されている状況です。黒崎事務所については、避難する人の状況を見ながら活用することとしています。

- ・神浦小学校横の木造住宅については、平成30年度に解体を予定しています。それ以外にも、外海地区には用途廃止した建物がありますが、利用できないものは解体し、跡地は売却する方針です。決まり次第情報提供をさせていただきます。

#### 【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

今回の対話で象徴的だったのは、ゲートボール場の議論ではないでしょうか。皆様の方からは、今の利用の状況を見て、ゲートボールとそれ以外で半面ずつ使ってはどうかというアイデアが出され、多目的な場所として使い方を改めてはどうかという議論にも発展しました。こういう話は、対話をしていかなないとなかなか出てこないことでもあります。

これまで話してきたことは、今後の具体的な議論のベースになるはずです。施設を賢く使っていこうという目的を果たすためには、まだ課題が残っています。今回まで体験していただいた議論を次に繋げていってほしいと思います。

### 4 今後の流れ

※この対話で出たご意見などを参考に、施設の整備計画は最終的に市で決定していきます。

住民対話（全4回）



ご意見・ご提案

地区別計画の策定



皆さんからの  
ご意見・ご提案を  
参考に  
市でとりまとめ

公共施設の地区別計画を策定しましたら、外海地区の皆さんへ改めてお知らせいたします。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）